

2018年度



**International
Finance Corporation**
WORLD BANK GROUP

Creating Markets, Creating Opportunities





目次

2018年度のハイライト	2
経営陣からのごあいさつ	4
フローラ・チャオとのQ&A	5
IFC ソーシャルボンド・プログラムの概要	6
IFC ソーシャルボンド・プログラム：2018年度の発行実績	7
IFC の顧客との5分間のミニ・インタビュー：BIX Capital	8
ソーシャルボンド市場の推進：外部を巻き込む	10
IFC ソーシャルボンド適格プロジェクトの地域別・セクター別 コミットメント及び融資実行額	11
注目プロジェクト：Afghan Samoon Company	12
注目プロジェクト：An Binh Bank	14
IFC における環境・社会・ガバナンス (ESG) のスポットライト： ジョン・グレアムとのインタビュー	16
IFC ソーシャルボンド・プログラムのプロセス	18
IFC によるインパクト・レポートへのアプローチ	19
2018年度にコミットしたソーシャルボンド適格プロジェクト	20
作成者及び連絡先	28
免責事項	28

2018年度の ハイライト

ソーシャルbond
適格プロジェクトの
コミットメント及び融資実行額
(百万米ドル)

コミットメント合計

2017年度	2018年度	合計
619	717	1,336

融資実行額合計

2017年度	2018年度	合計
323	615	938

6通貨建ての13本のソーシャルbondを通じて
407 百万ドルを調達

以下**8**セクターの**38**件の
新規プロジェクトにコミット



アグリビジネス



教育



食糧



保健



ICT*



ジェンダー・
ファイナンス



住宅金融



マイクロ
ファイナンス

IFCソーシャルボンドが2018年度に支援したプロジェクトの

今後**4**年間の見通し



1,313,414の
農家を支援



137,441人の
学生を支援



42,780,000人に
ICTサービスを
提供



1,545,191件の
マイクロ・ローン
を提供



88,161件の
女性起業家
を支援



37,391件の
住宅ローン
を提供

経営陣からのごあいさつ

ハンス・ピーター・
ランケス

IFC 副総裁
経済・民間セクター開発
総局



社会的責任投資 (SRI) は多くの投資家の関心を集めています。私たち国際金融公社 (IFC) は、私たちのミッションの根幹に関わるこの進展を歓迎しています。私たちは、投融資を最も必要としている人々と場所に対して、持続可能で包摂的な成長を実現し、人材を育成し、レジリエンスを強化するための投融資を行っています。IFC は、ジェンダー・スマートな投融資を行い、貧しい人々や、脆弱な状態にある人々、及び紛争の影響下にある人々を支援することに尽力しています。IFC の顧客も IFC と理念を共にしています。

こうした活動を行う中で、最新の IFC ソーシャルボンド・インパクト・レポートをお届けできることを嬉しく思います。IFC ソーシャルボンドの調達資金から資金供与を受けたプロジェクトは、環境と社会の持続可能性の実現という IFC の要件を満たすだけではありません。女性やサービスを十分に受けられていない人々に好ましい変化をもたらし、国際連合が定めた持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向けた進展を加速することにも貢献しています。

今年実施されたプロジェクトは、私たちが IFC の最終的な顧客と考えている人々に直接、大きな影響をもたらします。例えば、これらのプロジェクトは、アフリカの女性が環境に優しい調理用ストーブなどの生活必需品を入手しやすくしたり、小規模農家に灌漑の手段を提供したり、あるいは、学生に手頃な学費で学べる、質の高い高等教育を提供しています。また脆弱な環境下や紛争の影響下にある地域では、融資へのアクセスの提供、オンライン・コネクティビティの拡大、小規模農家の収穫高拡大といった支援をしています。こうしたプロジェクトは、大いに必要とされていた変化と影響をもたらしています。

IFC はこの分野を主導する立場として、今後も業界を前進させ、より大きなインパクトを実現できるよう、努力していかなければなりません。このレポートが、皆様の IFC のソーシャルボンド・プログラムに関する理解を深め、貧困を撲滅し、繁栄の共有を促進するための開発に SRI がどう貢献しうるかについての対話に加わるきっかけとなれば幸いです。

「ソーシャルボンド市場は力強い発展を遂げつつあり、需要は旺盛です。しかしソーシャルボンド市場はまだ始まったばかりであり、成長するソーシャルボンド市場の整合性と透明性を維持することは極めて重要です。IFC は国際資本市場協会 (ICMA) と協力し、グリーンボンド原則およびソーシャルボンド原則にかかる執行委員会にも名を連ねています。IFC は同執行委員会ソーシャルボンド作業部会の共同議長として昨年、『ソーシャルボンド・インパクト・レポートの共通枠組み策定に向けた取り組み (Working Towards a Harmonized Framework for Impact Reporting for Social Bonds)』レポートを発行し、このトピックに関する発行体と投資家の協議を活発化させる最初の大きな1歩を踏み出しました。」

トム・クースターズ

IFC 債券市場業務局長

フローラ・チャオとの Q&A

フローラ・チャオ

IFC 資金調達担当
グローバルヘッド



フローラ・チャオはIFCのグローバル資金調達チームのリーダーであり、IFCの公募・私募債市場を通じた借入の責任者を務めています。IFCは2017年以降、全体的な資金調達プログラムの一環としてソーシャルボンドの発行を行っています。発行体の立場から見た最近の傾向について話を聞きました。

IFC ソーシャルボンド・プログラムは2017年3月の立ち上げ以降、どのように発展してきましたか？

IFCが2017年3月に最初のソーシャルボンドを発行して以来、より多くの、幅広い投資家層で、IFCのソーシャルボンドに対する需要が高まっています。IFC ソーシャルボンド・プログラムの拡大は、明らかにこうした需要の増加を反映したものです。IFCはソーシャルボンド・プログラムの発行の場を私募債市場にまで広げるとともに、ソーシャルボンドへの関心が高まる日本の個人投資家の需要に、売出质形式で対応しました。IFCの2本のベンチマーク・ソーシャルボンドの発行においても、非常に質の高い投資家の参加がみられました。例えばIFCは最近、2023年満期のカンガルー・ソーシャルボンドについて、4億豪ドルの増額発行を実施しました。このソーシャルボンドには、環境・社会・ガバナンス(ESG)投資を明確に選好する投資家を含め、各国中央銀行や公的機関からの強い需要が寄せられました。IFCは、2030年までに投融資ポートフォリオを2倍に拡大し、複数の分野にまたがる3つの優先課題(気候変動、ジェンダー及び

脆弱性)に重点を置いております。ソーシャルボンドの対象プロジェクトは、今後ますます拡大していくと見ています。

IFC ソーシャルボンド・プログラムは2018年度に何件かの新規取り組みを行い、成長著しいソーシャルボンド市場に多様性と規模の拡大をもたらしました。またIFCは、トルコのGaranti Bankが発行したジェンダー・ボンドへの投資を行いました。これは新興市場の企業が発行した史上初のジェンダー・ボンドです。トルコの中小企業のうち、女性が経営する企業は10%にも満たず、かつ50億ドルの与信ギャップに直面していることを考えれば、これは重要な変化です。ジェンダー・ボンドの発行を通じた調達資金はすべて、女性が経営する小規模企業への貸出に充てられます。

IFC 債券の投資家との交流を通じて気づいたことはありますか？

投資家は、ソーシャルボンドの成長の方向性を決定し、次世代のためにより持続可能な世界を形作る上で、重要な役割を果たしています。興味深いことに、IFCの従来の投資家からも、IFCのインパクト投資について質問されることが増えてきています。またSRI専用ポートフォリオを設定する投資家も増加傾向にあり、IFCは投資家がソーシャルボンドへの投資資金を拡大し、ソーシャルボンド市場が真に成長することを願っています。

IFCは、IFC ソーシャルボンド及びグリーンボンドの投資家との対話を活発に行っています。投資家との面談の中で、話題がソーシャルボンド・インパクト・レポートの詳細に移ると、信用と同程度の高い関心をもって、対象プロジェクト、開発効果の測定方法、及び調達資金の管理方法について深い議論となります。投資家は熱心に耳を傾け、興味を持ち、詳細を理解しようとするのです。

今後、ソーシャルボンド市場の成長を促す要因は何だと思いますか？

ソーシャルボンドは誕生して間もない商品ですが、その市場は過去2年間で大きな成長を遂げました。国連の持続可能な開発目標に対する関心の高まりや、業種やセクターを問わず、ESGを企業レベルのテーマとして取り入れる気運が高まっていることが理由だと思います。2017年に発表されたソーシャルボンド原則(SBP)は、発行体がソーシャルボンド・プログラムを策定する際の指針を提供するだけでなく、対象となる人々や適格プロジェクトの種類に関する不明瞭さを軽減することにも役立っています。大いに必要とされている流動性を市場にもたらし、発行体の多様性を高めるため、IFCは企業セクターや政府による起債も奨励しています。そうすることで、市場に強い影響を与え、ソーシャルボンドの流動性を支えることができるでしょう。

IFCは、自らの債券発行以外でもソーシャルボンド市場の開発において、大きな影響力を持って積極的に関わっていく方針です。IFCはグリーンボンド原則及びソーシャルボンド原則にかかる執行委員会の一員として、両原則の開発に参加しました。IFCはソーシャルボンド作業部会の共同議長として、適格プロジェクトの報告パラメーターを定めた「ソーシャルボンド・インパクト・レポートの共通枠組み(Harmonized Framework for Impact Reporting for Social Bonds)」の草案作成に中心的な役割を果たしました。ESG及びインパクト投資に適用される枠組み、基準、原則、指標は、投資家が自身の取り組みに合わせて調整できるよう、柔軟に設計されている必要があります。

IFC ソーシャルボンド・プログラムの概要

IFC ソーシャルボンド・プログラムは、女性が経営し融資にアクセスできない小規模企業、質の高い保健医療にアクセスできない低所得世帯、収穫した農産物を売するための市場にアクセスのない小規模農家といった、サービスを十分に受けられていない人々に直接焦点を当てたプロジェクトに資金を提供します。これらのプロジェクトは、世界中のアクセスのギャップに対処し、生活必需品やサービスを提供し、生活水準を引き上げることで、国連 SDGs の実現を目指しています。

- **商品・サービスへのアクセスを拡大する**：これには、水道・電力・衛生サービスへのアクセス、ブロードバンド及び携帯電話サービスへのアクセス、手頃な価格帯の住宅へのアクセス、及び食料安全保障の改善が含まれます。
- **生活水準の向上と人材育成**：これには、特に女性が経営する企業や零細起業家による融資へのアクセス、起業家及び小規模農家による市場へのアクセス、ならびに質の高い保健医療及び教育へのアクセスが含まれます。

ソーシャルボンド・プログラムは、IFC の女性起業家支援プログラムと、インクルーシブ・ビジネス・プログラムで構成されています。

IFC の女性起業家支援プログラムは、幅広い金融機関のネットワークを対象に、女性が経営する中小企業及び個人顧客を獲得し、サービスを提供するための、資金と専門知識を提供します。IFC の女性起業家支援事業は、これまで、女性が経営する中小企業への金融サービスを

後押しするために、43ヶ国の76の金融機関に投融资、資金動員、助言サービスを提供してきました。

IFC はあらゆる種類のシニア融資、劣後融資、ボンド、エクイティ、信用補完及びリスク軽減商品を金融機関に提供しており、対象の金融機関は、女性が経営する中小企業に対して一連の金融サービスを提供しています。IFC は2018年度に2億7,600万ドルの新規コミットメントを行っており、2018年6月30日現在の累積的なコミットメント総額は18億4,000万ドルに達し、その全額が、女性が経営する中小企業への転貸に充てられています。IFC はこれまでに37ヶ国の59の金融機関を対象に、70件の投融资を行っています。

女性起業家支援のための助言プロジェクトでは、中小企業及び個人顧客にサービスを提供する銀行向けのダイナミックなプログラムがスタートしました。2018年6月30日現在、女性起業家支援のための助言プロジェクトは40件実施されており、うち13件がサブサハラ・アフリカ、10件が東アジア・大洋州、8件が南アジア、5件が中東・北アフリカ、4件がラテンアメリカ・カリブ海向けとなっています。これらのプロジェクトは、金融機関が女性市場の事業機会を捉え、戦略を策定し、女性顧客のための価値提案を行えるよう、支援することを目的としています。

インクルーシブ・ビジネスは、ビジネスとして成立し、かつ規模を拡大できるビジネスモデルで、低所得層や、十分なサービスを受けられていない人々のために、生活必需品やサービス、経済的なアクセスを拡大します。民間セクターに対するこうしたアプローチと、世界銀行グループが掲げる2つの目標の間には、重要なつながりがあります。インクルーシブ・ビジネスにおけるアプローチは、商業的な持続可能性と開発インパクトの両方の実現に重点を置くことが特徴だからです。

こうしたアプローチは、質の高い商品やサービスへのアクセスを拡大するだけでなく、貧困の撲滅に取り組み、より健全な暮らしを実現することにつながる、幅広いインパクトを可能にします。

供給側から見ると、インクルーシブビジネスを営む企業は、貧しい人々やサービスを十分に受けられていない人々を、生産事業のバリューチェーンに組み込んでいます。企業側にもメリットはあり、例えば起業家または小規模農家との取引を通じて、より忠実なサプライヤーを確保しやすくなります。需要側から見ると、インクルーシブビジネスを営む企業は、アクセスのギャップに直接対処する、手頃な価格帯の商品やソリューションを提供しています。多くの場合、こうした企業は低所得層の顧客の繰越需要を満たすことを目指し、家族経営の小規模小売業者とも協業しています。

インクルーシブ・ビジネスにおけるアプローチは複数の分野に及び、そのためプロジェクトも様々な業種（金融、アグリビジネス、保健、教育、電力供給、水道／衛生サービス、テクノロジーなど）と地域を網羅しています。IFC は2018年度に、インクルーシブ・ビジネスに分類された84件のプロジェクトを対象に、融資とエクイティを通じて18億ドル超をコミットしました。地域別に見ると、コミットメント金額は南アジア（34%）が最も多く、次いでサブサハラ・アフリカ（19%）、ラテンアメリカ・カリブ海（17%）の順でした。

IFC は、インクルーシブ・ビジネスを営む企業が経済ピラミッドの下層部（BOP層）市場をよりよく理解し、インクルーシブな事業モデルを開発、刷新または拡大する機会を特定できるよう、組織をあげて幅広い助言サービスと調査支援を提供しています。

IFC ソーシャルボンド・プログラム

2018年度の発行実績

2018年度は、2017年3月に発足した IFC ソーシャルボンド・プログラムが初めて1周年を通じて運用された、記念すべき年となりました。IFC が当年度中に発行したいくつかの「史上初」のソーシャルボンドにより、市場が多様化し、規模が拡大し、多様な投資家に債券が販売されました。

IFC は2018年度に**6つの通貨**（米ドル〈USD〉、豪ドル〈AUD〉、ブラジルレアル〈BRL〉、メキシコペソ〈MXN〉、トルコリラ〈TRY〉及び南アフリカランド〈ZAR〉）建てで**計13本のソーシャルボンドを発行し、総額4億700万ドルを調達しました¹**。これにより、プログラム発足以来の IFC ソーシャルボンドの累積的な調達額は9億1,900万ドル、発行件数は16件、通貨は6通貨となりました。

2018年度の初めには、ソーシャルボンド・プログラムの発行の場を私募債市場にまで広げ、日本生命保険相互会社向けに、年限10年の1億ドルのソーシャルボンドを発行しました。**IFC ソーシャルボンド・プログラムの下で発行された史上初となるこの私募債**では、投資家に対し、カスタマイズされたストラクチャーの利回り2.38%の債券を提供しました。

その1ヶ月後には、米国の自治体からの発行要請に応え、**米国で初めてソーシャルボンドの私募債の発行**を行いました。この年限3年の2,500万ドルのソーシャルボンドは、国際的な資産クラスへの分散投資と社会的責任投資（SRI）商品を求める米国の州及び地方自治体投資家に対し、革新的な金融商品を提供しました。

2018年3月、IFC ソーシャルボンド・プログラムは、1年前に行った最初の5億ドルの起債以来となる公募債市場に戻り、**史上初となるカンガルー・ソーシャルボンドを発行**しました。この5年満期、発行額3億豪ドル、利回り2.70%のソーシャルボンドには、世界各地の公的機関、年金基金及びファンド・マネージャーを含む15超の機関投資家が購入しました。そのうち35%超がそれまで IFC に投資したことのない投資家でした。この債券発行は、オーストラリア市場における、社会的責任投資債券への投資家の需要に応える形で実現したものです。IFC はこ

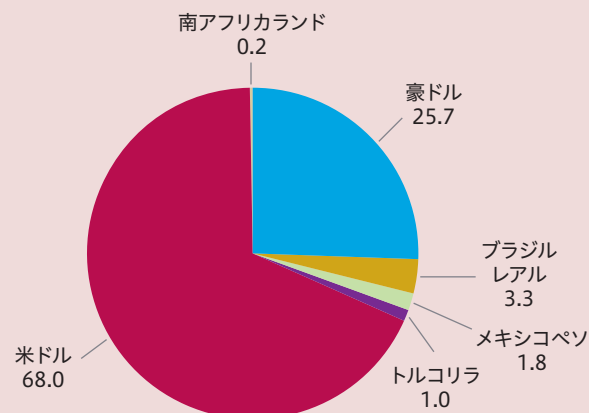
の取引により、投資家基盤を一段と多様にし、それまで IFC の資金調達プログラムに参加したことのない、幅広い投資家を惹きつけることができました。

日本の個人投資家は、2018年度を通じて IFC ソーシャルボンド・プログラムの主要な投資家層でした。IFC は様々な通貨（トルコリラ、豪ドル、ブラジルレアル、メキシコペソ及び南アフリカランド）建てで、**10本のソーシャルボンドを売出債形式**によって発行し、2018年度を通じた発行総額は4,800万ドルとなりました。売出債に携わった証券会社は、個人投資家にインパクト投資の機会を提供することに重点を置いており、IFC はその強力な支援のもと、引き続き、女性起業家や低所得層などの対象者の状況を改善するためのプロジェクト資金を調達することができました。

IFC の累積的ソーシャルボンド発行額

発行額	9 億 1,900 万ドル
ソーシャルボンド発行件数	16 件

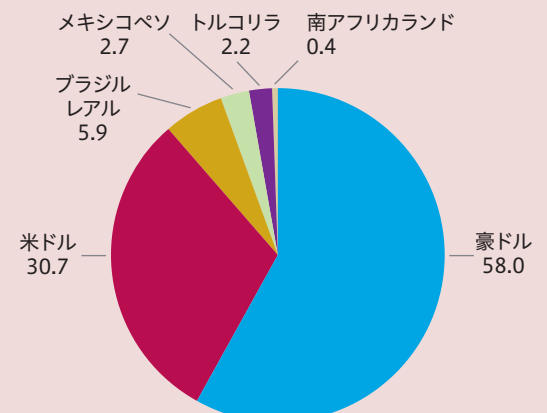
通貨別に見た IFC の累積的ソーシャルボンド発行額 (%)



IFC の累積的ソーシャルボンド発行額

発行額	4 億 700 万ドル
ソーシャルボンド発行件数	13 件

通貨別に見た IFC の累積的ソーシャルボンド発行額 (%)



¹ このセクションに記載された債券発行は、2018会計年度（2017年7月1日～2018年6月30日）の活動によるものです。前回のソーシャルボンド・インパクト・レポートでは、IFC の活動を暦年ベースで記載していました。

IFC の顧客との 5 分間の ミニ・インタビュー BIX Capital

サブサハラ・アフリカに 調理用ストーブを

イェルーン・ブリューム

BIX Capital
マネージング・
ディレクター

2018 年 5 月、IFC は BIX Capital 向けに 350 万ドルの融資を承諾しました。この融資は、IFC ソーシャルボンド調達資金から資金供与を受けたものです。IFC のリーダーシップ、及び商業ベースでの案件ストラクチャリングを実施する厳格さにより、BIX モデルの信頼性が一段と高まりました。



BIX Capital は経済ピラミッドの下層部（BOP 層） の人々にどのようなインパクトを与えていますか？

世界では 30 億の人々が、たき火か、バイオマスや石炭を燃料とする伝統的な調理用ストーブを調理または暖房に用いています。また少なくとも 20 億人が、安全に管理された飲料水サービスを受けられず、10 億人が電力にアクセスできないでいます。これらはいくつもの健康問題の要因となり、室内の空気汚染（調理や加熱の際に排出される有害な煙の吸引など）に起因する早死も例外ではありません。また通常、何時間もかけて燃料・薪・水を集めるのは女性や子供の役目であり、そのため彼らは特に大きな影響を被っていました。また温室効果ガスの排出と森林破壊により、環境にも悪影響を及ぼしていました。

BIX は、環境に優しい調理用ストーブ、浄水装置、バイオガスダイジェスターなど、BOP に位置する人々の日々の暮らしを改善する商品を手頃な価格で入手しやすくすることにより、こうした問題のソリューションを提供しています。

BIX Capital の革新的ソリューションについて、より詳しく教えてください。

当社は成果連動型の融資制度を取っており、開発効果が高く気候・環境に配慮した製品を、主にサブサハラ・アフリカで製造・販売している中小企業に対し、運転資金のデット・ファイナンスを提供しています。

当社はまず、BOP の低所得顧客向けの調理用ストーブを製造・販売している、米国に本社のある調理用ストーブ・メーカーへの事前融資（pre-financing）を試験的に行いました。調理用ストーブが販売され、利用者によって自宅にて使用されるとカーボンクレジットが発生し、それを売却・現金化することにより、リボルビングファシリティを作り上げること、それが我々の狙いでした。当社は、借り手のバランスシートではなく、この製品がもたらすカーボンクレジットの売却資金を返済原資に充て、将来の収益に対して融資を行うことにより、環境に優しい製品を手頃な価格帯で供給する上での主要な障壁——つまり、持続可能な事業規模拡大を実現する上での資金不足という問題に対処することができました。この事前融資（pre-financing）により、バリューチェーンにおける価格と入手可能性の障壁を乗り越え、この製品の製造・販売規模を拡大することが可能となりました。結果として、より多くの調理用ストーブを販売し、その分カーボンクレジットも増やすことができます。このサイクルは最終的に製造・販売企業に多額の収益をもたらし、当社はこれを、インパクトに基づいた事前融資（pre-financing）の「弾み車」と呼んでいます。

BIX が融資を行った企業のうち 1 社について説明してください。

現在融資している企業は 5 社であり、そのすべてがサ

ブサハラ・アフリカの BOP 世帯に環境に優しい調理ソリューションを提供しています。当社は他社が提供していない、収益参加型融資を提供しています。これは、事業には直接担保を設定せず、利息の元加と、実現したカーボン収益のうち一定水準を上回った部分が当社に支払われる仕組みを組み合わせたものです。当社が要求する唯一の担保は、プロジェクトから産出される一定量のカーボンクレジットを購入することに同意したバイヤーに販売することで得られる収益です。

当社の顧客の 1 つが C-Quest Capital (CQC) です。CQC はカーボン・プログラムを導入し、信頼できるバイヤーとの間で、カーボンクレジットの長期引取契約を締結しています。当社は CQC が実現する気候及び社会・経済へのインパクトに対して 2016 年から事前融資（pre-financing）を行い、貧困層の顧客に効率の良い調理用ストーブを提供するため、ナイジェリア、ザンビア及びマラウイの現地パートナーとの業務拡大を支援してきました。

これまでにどのようなインパクトを実現してきたのですか。

BIX は引き続き、BOP 世帯とコミュニティをとりまく環境や社会課題の解決に向けて成果を出していくことを中核的なミッションとしています。当社は、開発効果が高く、気候及び環境に配慮した製品の市場を拡大し、国連 SDG 6「安全な水とトイレを世界中に」及び 7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」を実現に向けて歩を進めることを目指しています。当社の融資先企業はこれまで、事前融資を通じて市場での立場を強化し、10 万個以上の製品を販売してきました。こうした取り組みは約 50 万人の生活を改善し、炭素排出量の大幅削減に貢献しています。また当社は IFC の支援を得て、こうした環境に優しい製品がエンドユーザーに及ぼす衛生面や社会・経済面の効果を定量化する新しい方法を試験的に導入しています。

インパクトの話

ティマリスはCQCと現地パートナーにより環境に優しい調理用ストーブを購入することができた大勢のザンビア人の1人です。彼女は、この新しい調理用ストーブのおかげで自分の人生を取り戻せたと言います。以前ほど燃料を消費しなくなったため、大きな丸太を集めるために長距離を歩かなくても、自宅近くで薪を集められるようになったのです。改良されたストーブを使えば、それまで使用していたき火よりずっと簡単に、短時間で調理することができます。またメンテナンスが簡単で、煙や有害な汚染物質も以前ほど出なくなりました。彼女はこのプロジェクトが、特にザンビアの非常に貧しい世帯へと拡大し、人々が彼女と同じように人生を「取り戻せる」よう願っています。*



※出典：CQest Capital

ソーシャルボンド市場の 推進

広範な関与

2017年6月、国際資本市場協会(ICMA)により、透明性と情報開示に関する自主的なガイドラインである**ソーシャルボンド原則**が公表されました。IFCは2018年・2019年のICMAソーシャルボンド作業部会(SBWG)の共同議長として、同原則の草案作成に中心的な役割を果たしています。SBWGは、透明性の改善を通じて市場の整合性を一段と高めるため、2018年6月に公表された「ソーシャルボンド・インパクト・レポートの共通枠組み」を推進する役割を担っています。

極度の貧困を撲滅し、繁栄の共有を促進するという、国連SDGsに沿った目標を実現するためには、民間セクターの強力なプレーヤーを巻き込むことが不可欠だとIFCは考えています。IFCはグリーンボンド原則及びソーシャルボンド原則執行委員会(EXCOM)の現行メンバーとして、「持続可能な開発目標に向けたハイレベルなマッピング(A High-Level Mapping to the Sustainable Development Goals)」枠組みの開発に積極的に参加しました。これは、発行体、投資家、及び債券市場関係者がグリーン/ソーシャル/サステナビリティボンド・プログラムの融資目的を、国連のSDGに照らして評価するための枠組みとなるものです。

IFCソーシャルボンドによる取り組みの具体例としては、トルコのGaranti Bankが発行したジェンダー・ボンドに7,500万ドルを投資したことが挙げられます。これは、新興市場の民間セクターが発行したジェンダー・ボンドとしては史上初のものです。IFCの支援のもと、Garanti Bankは国際的なソーシャルボンド原則に従ってジェンダー・ボンドを発行し、その調達資金を女性が経営する企業への融資に充当します。この投資は、IFCが女性起業家支援プログラムを通じて設立した女性起業家機会改善ファシリティ(Women Entrepreneurs Opportunity Facility、WEOF)、及び世界中の女性起業家に対し、事業と経営に関する教育、メンター活動、ネットワーク作り、及び資金へのアクセスを提供することによって経済成長を促進する世界的なイニシアティブである、ゴールドマン・サックスの『1万人の女性(10,000 Women)』プログラムによって支援されています。



ソーシャルボンド適格プロジェクトの 地域別コミットメント及び融資実行額

(百万米ドル)

2018年6月30日現在、IFCソーシャルボンドの調達資金を充当したソーシャルボンド適格プロジェクトは累計69件にのぼります。これらのプロジェクトへのコミットメント総額は13億ドルで、そのうち9億3,800万ドルの融資が実行されています。

ラテンアメリカ・カリブ海

	2017年度	2018年度
コミットメント	42	108
融資実行額	8	86

中東・北アフリカ

	2017年度	2018年度
コミットメント	12 ³	106
融資実行額	7	5

欧州・中央アジア

	2017年度	2018年度
コミットメント	109	177
融資実行額	107	154

南アジア

	2017年度	2018年度
コミットメント	165	151
融資実行額	100	122

サブサハラ・アフリカ

	2017年度	2018年度
コミットメント	155 ²	104
融資実行額	102	79

東アジア・大洋州

	2017年度	2018年度
コミットメント	137	71
融資実行額	0	168

2 守秘義務の理由により、2017年度にコミットした適格プロジェクト1件を地域別・セクター別集計から除外しています。

3 IFCはパキスタンの地域区分を中東・北アフリカ(MENA)から南アジアに変更しました。上記の数値は変更後の数値です。これに伴い、2017年度の全プロジェクトの区分の見直しを行いました。

4 ジェンダー・ファイナンスには、女性起業家支援プロジェクトが含まれます。ジェンダーを重視したマイクロファイナンス・プロジェクトはマイクロファイナンス・セクターに含まれます。

ソーシャルボンド適格プロジェクトの セクター別コミットメント及び融資実行額

(百万米ドル)

アグリビジネス

	2017年度	2018年度
コミットメント	119	56
融資実行額	104	41

住宅金融

	2017年度	2018年度
コミットメント	0	20
融資実行額	0	20

教育

	2017年度	2018年度
コミットメント	0	5
融資実行額	0	1

マイクロファイナンス

	2017年度	2018年度
コミットメント	449	150
融資実行額	204	316

食糧

	2017年度	2018年度
コミットメント	29	37
融資実行額	3	15

インフラ

	2017年度	2018年度
コミットメント	20	0
融資実行額	13	0

保健

	2017年度	2018年度
コミットメント	0	68
融資実行額	0	0

その他金融

	2017年度	2018年度
コミットメント	0	4
融資実行額	0	0

ICT

	2017年度	2018年度
コミットメント	0	137
融資実行額	0	31

その他

	2017年度	2018年度
コミットメント	3	0
融資実行額	0	1

ジェンダー・ファイナンス⁴

	2017年度	2018年度
コミットメント	0	241
融資実行額	0	189

注目プロジェクト

アフガニスタンのレーズン農家を支える

AFGHAN SAMOON COMPANY

アフガニスタンは、その乾燥した高温の気候ゆえに、世界で最もレーズン栽培に適した場所の1つとなっています。アフガニスタン産のレーズンは、その自然で独特な風味から国際的に高い需要があります。1970年代から1980年代にかけて、レーズン生産はアフガニスタン経済の基幹産業であり、世界のレーズン市場の約20%を占めていました。

しかし長年に及ぶ紛争と政情不安によって、かつて栄えていたアフガニスタンのレーズン産業は衰退してしまいました。品質が低下し、地元の農家はレーズンの輸出に苦戦するようになりました。多くの家やブドウ畑が破壊され、農家はレーズンを低価格で販売せざるを得ませんでした。人口の80%超がアグリビジネスで生計を立てている同国において、レーズンの輸出縮小は、多くの国民の生活を直撃しました。レーズンの加工拠点が近隣諸国に移ったことも、アフガニスタン経済への打撃となりました。現在ではアフガニスタン産レーズンの輸出は40%未満に留まっています。

IFCは2018年6月、最新設備を備えた新しいレーズン加工工場を支援するため、設立間もないAfghan Samoon Companyに融資を行いました。新工場が建てられたシャマリ地域は、紛争の最前線となった場所でした。この新施設は、1ヘクタール以下の畑でブドウを栽培する推計3,000軒の地元農家からレーズンを調達し、アフガニスタン経済の活性化につなげる計画です。また、フルタイム職の過半数に女性を雇用することを予定しています。

「当社の供給を支えているのは小規模な土地を所有する農家です」同社CEOのマセ・リクウェダは言います。「アフガニスタンでは、それが土地所有農家の一般的な形態なのです」。リクウェダ家は25年間にわたりアフガニスタン産レーズンの売買に従事し、同セクターが直面している課題とチャンスの両方を理解しています。

地元の農家は、灌漑システムやブドウ棚、乾燥マットといった、商業的に成功を収めるために重要な設備を持っていません。ブドウ棚を使えば、例えばブドウの木1本あたりの生産高を40%増やすことができます。また灌漑システムがあれば、水の使用量を減らすと同時に、ブドウの質を高めることができます。IFCは、現地のサプライチェーンを築き、小規模農家による農業慣行の改善を支援し、それによって収穫高を上げ、最終的に農家の所得を増やすために、補完的な助言サービスを提供する予定です。またIFCは同社が財務管理能力を高め、食の安全に関する業界の最高基準を導入することを支援していきます。

本プロジェクトには、世界農業食糧安全保障プログラム(Global Agriculture and Food Security Program、GAFSP)の民間部門によるファーストロス保証が付与されています。これは、プロジェクトに資金を提供し、アグリビジネス・セクターへの民間投資を促すための革新的な金融ソリューションです。融資金額のうちIFCの自己勘定分は、IFCソーシャルボンドの調達資金から供与されます。本プロジェクトには、多数国間投資保証機関(Multilateral Investment Guarantee Agency、MIGA)が提供する、戦争と内乱に関する政治リスク保険が付与されています。また、世界銀行が所管するアフガニスタン復興信託基金が、農家の農業慣行を改善し、新技術を導入し、農家と市場をつなぐ活動を行っており、本プロジェクトは、こうした活動も支援しています。

本プロジェクトでは、世界の気候変動に対する取り組みも支援します。Afghan Samoon Companyは、商用グレードの加工基準を採用することで、ブドウの廃棄量を減らし、同施設が本格的な生産体制に入れば、二酸化炭素排出量を年間で最大3,000トン削減することができます。また同社は現地に3万本のブドウの木を植えました。

本プロジェクトは、農家のために市場へのアクセスを取り戻し、同国のレーズン産業を再び活性化するための重要な一歩です。「アフガニスタンはかつて、レーズンの産地として世界的に知られていました。このプロジェクトによって、その名声を取り戻せるよう願っています」(マセ・リクウェダ)。



ある農家の話

ハジ・マラムは以前、アフガニスタンの学校で非常勤の教師として働いていました。しかし学校が焼失してからは、5人の子供を養うためにブドウを栽培するしかありませんでした。彼は現在、親族が所有する3ヘクタールの農場のうち0.5ヘクタールでブドウを育てています。

マラムはブドウの蔓を支えるブドウ棚を自分の畑に試験的に導入しており、うまくいけば生産性が大幅に高まる可能性があります。ブドウ棚を農場全体に設置したり、点滴灌漑システムを取り入れたりするには元手が足りませんでした。

Afghan Samoon Companyの新しいレーズン加工施設が近くに建設されたことで、祈りが通じたとマラムは言います。ブドウの買い手を見つけるのに苦労しなくてもよくなったからです。

リクウェダ家は、マラムのような生産農家が質の高いブドウを育て、正当な対価を稼げるよう、支援したいと考えています。「私たちは農家の所得が増え、栄養価の高い食べ物や、教育、保健医療といった、多くの人が当たり前と思っているものを手に入れられることを願っています」(Afghan Samoon Company CEO マセ・リクウェダ)。



注目プロジェクト

AN BINH BANK

ベトナムは急速な経済成長を遂げつつあり、所得水準は上昇し、経済改革に伴う市場開放から30年もたたないうちに中所得国の仲間入りを果たしました。ベトナム経済の屋台骨を支えるのは中小企業であり、全雇用者数の約半数、全企業の実に98%を占めますが、一般企業の経営者に占める女性の割合は約21%に過ぎません。

女性が経営する企業の過半数(57%)が零細企業、42%が中小企業であり、大企業に分類されるのはわずか1%です。女性が経営する企業がよく直面する問題の1つが、融資へのアクセスが不足していることであり、企業の成長に必要な資金が調達できていると答えた企業は30%に留まりました。IFCの推計によれば、女性が経営する企業だけでも、資金調達ギャップは年間約12億ドルに達し、そのため零細企業から中小企業への脱皮は一層困難となっています。

IFCはこのギャップを埋めるべく、女性起業家支援事業を通じて、パートナーと共に、ベトナムのAn Binh Bank (ABBank) に1億5,000万ドルのシンジケート・ローン・パッケージを提供しました。ABBankは1990年代に地方商業銀行として設立され、2004年に都市商業銀行に組織変更しました。

資金調達に悩んでいた女性実業家の1人が、ハノイのダンフオン県のグエン・ティ・トゥオン氏(57歳)です。同

氏は原木の売買を行う会社を2010年にわずか5人の従業員と共に設立しました。「私は2017年に家具生産業への進出を決め、木材成形機を購入し、工場を拡張するためにABBankから20億ベトナムドン(9万ドル相当)の銀行融資を受けました。新たに10人の作業員を雇用し、木製家具を製造して近隣の小売業者に卸しています。生産は安定しており、今年は生産能力を更に拡大したいと考えています」。

ABBankの中小企業担当副部長であるグエン・タン・フォン氏は、同行のアプローチを次のように説明します。「女性が経営する中小企業(W SME)は、その成長性と、市場と当行から得られる信用力の高さを理由に、当行の重点セグメントの1つとなっています。IFCからの長期的な資金提供を元に、当行は2018年12月現在、約3,500件の融資をW SMEに提供しており、同セグメントに対する融資の前年比増加率は36%に達しています。このポートフォリオの不良債権比率はわずか2%と、極めて低い水準にあります。当行は今後5年間で、W SMEに対する与信を年間30%の割合で拡大していく方針です。この目標を達成するため、当行は引き続き『女性起業家のための銀行』としてのブランディングを強化し、市場リサーチを通じた顧客ニーズの見極めに焦点を当て、このターゲット・セグメントの顧客のために、独特の商品や優れたサービスを設計・提供していく考えです。」

女性実業家のグエン氏は、このアプローチに助けられたと言います。「ABBankは私の融資申請を親切に効率よく審査してくれました。融資が極めて迅速に実行されたおかげで、市場の需要が高まる時期に間に合うように新しい製造ラインを立ち上げることができました。新規事業の幸先の良いスタートとなりました。」

IFCからABBankに対する1億5,000万ドルの融資パッケージのうち、4,000万ドルはIFCの自己勘定から、残りの1億1,000万ドルは、国際的な融資機関と地域の融資機関から成るコンソーシアムが提供しました。この融資パッケージのうち、4,500万ドルはWSMEのみに充てられます。本プロジェクトは、女性起業家による資金へのアクセスを拡大し、世界中の女性経営企業が抱える推定2,850億ドルの与信ギャップを埋めることを目的とした世界的なファシリティである女性起業家機会改善ファシリティ(WEOF)の支援を受けています。WEOFは2014年に、IFCの女性起業家支援プログラムと、ゴールドマン・サックスの『1万人の女性(10,000 Women)』イニシアティブのパートナーシップとして設立されました。WEOFはそれ以降、女性起業家への融資を促進するため、31ヶ国の42の金融機関に対して11億ドル超をコミットしています。

IFCは、グローバル貿易金融プログラムに基づき、2009年にABBankに貿易金融ファシリティを提供し、その後2013年には外国投資家として同行のエクイティ持分を10%取得しています。IFCは融資の他にも、ABBankのコーポレートガバナンスの強化と、中小企業向け銀行業務能力の向上を支援しています。IFCは今後、女性起業家顧客のセグメント化、開発、価値向上に向けた提案能力の強化に関して、引き続き同行に助言を行っていきます。



IFCにおける環境・社会・ガバナンス慣行のスポットライト

ジョン・グレアム

IFC チーフ
環境スペシャリスト
とのインタビュー



ソーシャルボンド適格プロジェクトは、IFC が力を入れているインクルーシブ・ビジネスまたは女性起業家支援の要件を満たすだけでなく、IFC のあらゆる投融資に適用される、IFC の環境・社会 (E&S) パフォーマンス基準を遵守しなければなりません。

ジョン・グレアムは IFC のチーフ環境スペシャリストであり、環境・社会・ガバナンス (ESG) ソリューション部のリーダーシップ・チームの一員でもあります。IFC の環境・社会スペシャリスト・チームの内部事情と、ESG 実務の発展について話をしました。

あなたの IFC でのキャリアと、現在の職務について教えてください。

先日、IFC に入社してから 18 年目を迎えました。私のキャリアは、産業スペシャリストとして、環境に優しい生産技術 (クリーナー・プロダクション) の問題に取り組むところから始まりました。1 年後に環境部に異動となり、以来ずっとそこで勤務しています。現在は、年間約 400 件にのぼる IFC の新規投融資案の環境・社会影響評価ポートフォリオについて、その品質と一貫性が保たれるように管理し、また IFC の約 2,000 の顧客に対する投融資ポートフォリオの E&S 面での監督を統括しています。この監督業務は、顧客が環境と社会に関する IFC の要件を満たせるよう、支援することを目的としています。

企業と投資家にとって、ESG はなぜ重要なのでしょうか？

優れた ESG 実務は、企業、コミュニティ及び環境に対するリスク管理に役立ちます。こうした非財務面のリスクを無視すれば、企業の財務に大きな影響を及ぼすおそれがあります。また優れた ESG 実務は企業の評判を高め、コストを削減し、新たな収益源をもたらします。例えば環境規制に違反したり、人権を侵したりすれば、膨大なコストが発生し、評判に傷が付く可能性があります。IFC は、地元コミュニティ及び環境の保護と、金銭的リターン及び経済発展という目標は切り離せないと考えています。そのため IFC は顧客と協力し、優れた実務を遂行し、ESG に対する配慮を事業運営に組み込む取り組みを行っています。

IFC は投融資事業において、ESG リスクをどのように管理しているのですか？

IFC はすべての投融資プロジェクトについて、リスクの洗い出しと事前のカテゴリー分類を行っています。私のチームは、プロジェクトのリスクが最小限またはゼロである場合を除き、E&S 影響評価を行い、顧客がプロジェクトの E&S リスクをどう管理しているか、IFC の要件を満たしているかどうかを審査します。スペシャリストによる審査は、プロジェクトの複雑さに応じて、事前の机上審査、顧客との面談、そしてハイリスクまたは複雑なプロジェクトについては現地視察や関係者との協議など、いくつかの形式で行われます。金融仲介機関を通じた投融資に関しては、仲介機関による新規案件及び既往案件の E&S リスク管理システムの質を審査します。

審査にあたり、見るポイントはセクターによって大きく異なります。例えば、児童労働や強制労働は行われていないか、適切な人権保護方針は導入されているか、などです。誰でもアクセスできる公共施設の場合は、防火基準を入念に調査します。女性ばかりの、やや隔離された職場に関しては、ジェンダーに基づく暴力の防止策に注目します。

プロジェクトの影響評価段階におけるデューデリジェンスの結果は、レビューを経て、直接投融資の場合は**環境・社会レビューサマリー**で、金融仲介機関を通じた投融資の場合は**投融資情報サマリー**で公開されます。顧客のパフォーマンスと、IFC のパフォーマンス基準との差を埋めるために顧客と合意したアクションは、**環境・社会アクションプラン**に記載されています。

IFC の E&S デューデリジェンスに対するアプローチは、時間と共にどのように変化してきたのですか？

IFC の ESG への取り組みは、優れた ESG 実務の遂行を、民間セクターの顧客に対する要件として初めて導入した 1990 年代にさかのぼります。プロジェクトから得た教訓を各投融資の環境レビューに取り入れ、最初の「セーフガード」を策定しました。私たちはレビューを通じて、環境問題だけでなく、社会問題もプロジェクト成功の妨げとなりうることを学びました。そのため IFC は 1998 年にセーフガードを見直し、環境・社会に関するセーフガード方針を公表しました。

2006 年もまた、IFC にとって画期的な 1 年となりました。初めて**環境・社会パフォーマンス基準を盛り込んだ持続可能性枠組み**を立ち上げたのです。これは、当時としては非常に急進的なことでした。プロセスよりも成果を重視する 8 つのパフォーマンス基準は、幅広いセクターの民間企業が直面する環境・社会問題と、新興市場の IFC 顧客が実現を目指すべき、優れた業界慣行を期待する事項を定めています。このアプローチは複数の国際的機関や民間銀行に採用され、その多くは IFC の基準を下敷きに、独自の基準を開発しています。

私たちはグローバル・コミュニティが直面している新たな問題やテーマに対処するため、2012 年に持続可能性枠組みを更新しました。新興市場にとって重要な問題を扱い、気候変動、人権、ジェンダー問題、先住民、生物多様性及び生態系サービスといったトピックを盛り込んだ方がよいと考えたためです。

IFC の ESG チームはどのように構成されているのですか？

IFC の ESG チームは約 80 名の環境・社会スペシャリストで構成されており、4 人の地域マネージャーを直属の上司とし、ワシントン D.C. の本部と IFC の地域オフィスに均等に配属されています。チームは業種セクターのスペシャリスト、労働基準など複数の分野にまたがる問題のスペシャリスト、そして地域のスペシャリストで構成されています。私はチームが 4 つの地域に分かれて個別に活動するのではなく、1 つのグローバル機関として活動するよう差配し、成果物の品質管理と一貫性を監視する役割を担っています。

今後、IFC の ESG はどのように発展していくと思いますか？

私たちは、ESG 実務を向上させ、また気候変動やジェンダーに基づく暴力に関連したリスクを特定するスペシャリストのスキルを一段と活用するために努力しています。またデューデリジェンス・プロセスを変更し、プロジェクトを体系的に評価し、格付けを付与するための格付けツールを開発しています。これが完成すれば、私たちの業務はより厳格かつ効率的なものとなるでしょう。さらに私たちは、E&S において考慮すべき事項をマクロレベルの計画立案に落とし込むアプローチを開発中です。例えば風力発電の開発にあたり、生物多様性または社会問題に悪影響を与えることなく実施するにはどうすればよいか、開発の後期段階になってから問題に取り組むのではなく事前に考えておく必要があります。また私たちは、問題を理解し、回避するための事前調査を実施することにより、IFC が事業開発を計画している地域の E&S 問題を理解しようと努めています。

ESG に関する IFC の刊行物の中で、見逃してはならないものはどれですか？

当チームが業務を通じて得た知見は、IFC の刊行物である**グッド・プラクティス・ノート及び環境・衛生・安全 (EHS) ガイドライン**に記載・公表されており、そこでは、公害規制、気候リスク、ジェンダーに基づく暴力、及び現代における奴隷問題等に対する IFC のアプローチを解説しています。

IFC ソーシャルボンド・プログラムのプロセス

IFC ソーシャルボンド・プログラムは、市場のベスト・プラクティスに従い、ソーシャルボンド原則を遵守しています。

調達資金の使途

IFC ソーシャルボンドによる正味調達資金は、ソーシャルボンド適格プロジェクトへの融資業務と関連したサブポートフォリオに割り当てられています。プロジェクトのうち、ソーシャルボンドによる調達資金から資金供与を受けられるのは融資の部分のみであり、エクイティ投資及び保証はソーシャルボンドの資金供与対象外です。

適格プロジェクトとは、IFC の女性起業家支援プログラムまたはインクルーシブ・ビジネス・プログラムのいずれかの要件を満たし、IFC が部分的または全面的に資金供与するプロジェクトを指します。

プロジェクトの評価と選定

資金供与を受けるすべてのプロジェクトは、ソーシャルボンドの適格基準を満たすだけでなく、厳格なデューデリジェンスの手続きを経ています。適格プロジェクトは、IFC の環境と社会の持続可能性に関するパフォーマンス基準及び IFC のコーポレートガバナンス枠組みを遵守しています。プロジェクトは継続的なモニタリング及び監督の対象となります。

調達資金の管理

IFC ソーシャルボンドによるすべての調達資金は、指定されたソーシャルボンド現金勘定に移され、適格プロジェクトに対して融資実行されるまで、IFC の保守的な

流動性方針に従って運用されます。

ソーシャルボンド現金勘定では、発行済みソーシャルボンドの残高と、適格プロジェクトの融資残高の差額を把握しています。ソーシャルボンド現金勘定の残高は、適格プロジェクトへの融資が実行されるか、ソーシャルボンドが償還を迎えると減少し、新たなソーシャルボンドが発行されるか、適格プロジェクトへの融資が返済されると増加します。適格プロジェクトへの融資実行要請は、IFC が定めた方針と手順に従って行われ、多くの場合、プロジェクトの進捗状況に応じ、何度かに分けて要請が行われます。

ソーシャルボンドが支援するプロジェクトでは、対象者である女性起業家や低所得層の社会課題の解決に関連した要素が、大きな投資プロジェクトの一部であるケースがあります。こうした場合、ソーシャルボンド・ポートフォリオは、プロジェクトの基準に適格する部分のみに融資します。投資対象会社には、全投資期間を通じたプロジェクト活動とパフォーマンスに関する定期報告が義務付けられ、こうした報告を元に、適格プロジェクトのモニタリングと監督を行っています。

IFC はスタンダード&プアーズ及びムーディーズの格付けで、トリプル A を取得しています。ソーシャルボンドの元利金の支払いは厳格に IFC の信用力に基づいており、IFC が実施する投融資案件に直接の影響を受けるものではありません。

報告

IFC ソーシャルボンド・インパクト・レポートは、ベスト・プラクティス及びソーシャルボンド原則の報告指針である「ソーシャルボンド・インパクト・レポートの共通枠組み策定に向けた取り組み」に従って作成されています。これは、透明性を高めることでソーシャルボンド市場の整合性を確保することを目的とする指針です。本レポートには、ソーシャルボンド調達資金から資金供

与を受ける資格のあるプロジェクトの一覧、またそれぞれの守秘義務を考慮した上で各プロジェクトの概略、適格融資額、期待される社会へのインパクトを掲載しています。本レポートには、ソーシャルボンドの融資対象となるプロジェクトのみを記載しています。

IFC ソーシャルボンド・プログラムの詳細については、以下のサイトをご参照ください。

www.ifc.org/socialbonds

適格プロジェクトとはどのようなものですか？

適格プロジェクトとは、以下のいずれかのテーマに関する IFC の要件を満たすものを指します。

女性起業家支援

金融仲介機関へ融資を行うプロジェクト。ただし、IFC の融資による調達資金の使途は、女性が経営する零細・中小企業へのオン・レンディング（転貸）を要件とします。

インクルーシブ・ビジネス

経済ピラミッドの下層部（BOP 層）に位置する、サービスを十分に受けられていない人々を自社のバリューチェーンに組み込む企業とのプロジェクト。例として、以下のプロジェクトが挙げられます。

- ・ 保健医療・教育サービスを提供するもの
- ・ 手頃な価格帯の住宅を開発するもの
- ・ ブロードバンドまたは携帯電話など、通信の手段を拡大するもの
- ・ 電力または水道サービスを提供するもの
- ・ 小規模農家から調達を行うもの
- ・ 融資を受ける手段を提供するもの
- ・ 家族経営の小規模小売業者を通じて販売を行うもの

IFCによるインパクト・レポートへのアプローチ

インパクトの報告は、IFC 及びソーシャルボンド・プログラムにとって極めて重要です。

持続可能な開発目標 (SDGs) との整合性

ICMA が 2018 年に公表した「持続可能な開発目標に向けたハイレベルなマッピング」⁵ は、グリーン/ソーシャル/サステナビリティボンド・プログラムと SDGs との整合性を確保するための幅広い枠組みを提供しています。

IFC は世界銀行グループの一員として、2030 年までに極度の貧困を撲滅し、繁栄の共有を促進するという 2 つの包括的な目標を掲げています。これらのハイレベルな目標はいずれも、SDG 1「貧困をなくそう」及び SDG 10「人や国の不平等をなくそう」をはじめとする SDGs と一致しています。IFC は、市場を創出し、民間資金を呼び込むことにより、難しい開発課題に取り組むことを使命としています。IFC は、2018 年に導入した「期待される成果の測定とモニタリング (AIMM)」システムにより、この使命と SDGs とのつながりを明確にしています。

戦略的セクター・レベルでは、インフラ、農業、ファイナンス・インクルージョン (金融包摂)、保健及び教育セクターにおける IFC のプロジェクトは、SDG 2、3、4、6、7 及び 9 と一致しています。また IFC はこれらのセクターにおいて、それぞれ SDG 8、5、12 及び 13 と一致した、雇用の創出と経済成長、男女平等、環境と社会の持続可能性、気候変動への適応・緩和策を推進しています。

さらに、民間投資家とのパートナーシップを通じ、新たな資金源を呼び込むことは、SDG 17 と一致しています。

本レポートの適格プロジェクト・セクションには、各ソーシャルボンド適格プロジェクトと、特定の SDG との関連性が記載されています。SDGs に対する IFC の貢献に関し、詳細は <https://www.ifc.org/sdgalignment> からご覧いただけます。

インパクト指標の選定

IFC と他の多国間・二国間開発機関は、過去 10 年の間、投融資プロジェクトに関する共通の開発指標の作成に取り組んできました。その結果、民間セクター事業の統一指標 (HIPSO) が策定され、26 の国際金融機関がこれを導入しています。HIPSO 指標のリストは、主としてセクター・レベルの成果指標で構成されています。

ソーシャルボンド・プログラムによるインパクトを報告する上で、IFC は HIPSO パートナーシップが合意したセクター特有の多くの指標⁶ を使用し、必要に応じて他の指標を採用しています。

ターゲット層の特定

上述の通り、IFC ソーシャルボンド・プログラムは、健全な生活の重要な要素である生活必需品やサービスにアクセスがない人々、融資にアクセスできない女性が経営する中小企業、質の高い保健医療にアクセスできない低所得世帯、農産物の市場にアクセスがない小規模農家といった、サービスを十分に受けられていない人々を対象としています。IFC は、金融仲介機関への投融資を行うことにより、IFC が直接支援することのできない、零細・中小企業などの顧客に金融サービスを届けています。

「ソーシャルボンド・インパクト・レポートの共通枠組み策定に向けた取り組み」⁸ のガイダンス資料に記載された、ソーシャルボンド原則の推奨に従い、本レポートの適格プロジェクト・セクションには、セクターごとのターゲット層を記載しています。

実体経済セクター	金融セクター
支援を受ける農家の軒数	女性が経営する中小企業への融資件数 ⁷
携帯電話契約者数 (被支援者数)	マイクロファイナンス融資件数
保健医療サービスを受ける患者数	住宅ローン融資件数
配電 (被支援者数)	
支援を受ける学生数	

5 <https://www.icmagroup.org/assets/documents/Regulatory/Green-Bonds/Mapping-SDGs-to-Social-and-Sustainability-Bonds-Final-030818.pdf> を参照

6 HIPSO 指標の完全なリストは <https://indicators.ifipartnership.org/indicators/> からご覧いただけます。

7 女性が経営する中小企業への融資件数は HIPSO 指標ではありません。

8 <https://www.icmagroup.org/assets/documents/Regulatory/Green-Bonds/June-2018/Framework-for-Social-Bond-Reporting-Final-140618v3.pdf> を参照

指標の見方

IFCは、可能な限り、セクターごとにインパクトを定量化しています。指標を算出できないか、守秘義務の理由により情報を開示できない場合は、定性的なインパクトを記載している場合があります。

インパクト指標は、企業が報告するデータに基づいて、顧客レベルで追跡しています。IFCの拠出額に応じた按分は行っていません。

各セクターのコア指標の定量化は、ソーシャルボンド・プログラムの報告書に基づいて行っていますが、報告されたデータには限界があることをご了承ください。結果を解釈する上での主な留意点は以下の通りです。

IFCの情報アクセスに関する方針

情報アクセスに関する方針は、IFCの持続可能性枠組みの基礎であり、透明性の向上に向けたIFCのコミットメントを明確に表したものです。

私たちは、投融資、及び顧客、パートナー、ステークホルダーへの助言活動に関する情報を正確かつ適時に提供するよう努めています。プロジェクト、環境・社会への影響、そして期待される開発効果に関する情報については、理事会での検討に先行して公開しています。

この方針は、ソーシャルボンド・プログラムから資金供与を受けるプロジェクトに適用されます。

- **効果の範囲**：報告は、プロジェクト承認時における事前評価に基づき、主にプロジェクトの直接的な効果に関するものです。
- **不確実性**：インパクト指標の予測における重要な留意点は、往々にして、指標は多くの仮定に基づいているという点です。プロジェクトの実際のインパクトは、当初の見通しとは大きく異なる可能性があります。
- **比較可能性**：プロジェクトやセクター、またはポートフォリオ全体を比較する際には、基準値（及び基準年）に違いがある可能性があるため、注意が必要です。また、セクターや国ごとの背景も考慮する必要があります。
- **遺漏**：プロジェクトは、報告書に記載されているよりも幅広い指標に影響を及ぼしているか、他にも重要な開発効果を及ぼしている可能性があります。さらに、プロジェクトによってはコア指標が適用できないか、データがない場合もあります。

2018年度にコミットしたソーシャルボンド適格プロジェクト

以下のインパクト・アセスメント表は、IFCソーシャルボンドの資金供与対象となるプロジェクトによって期待される効果の一部を示すものです。この表はセクター別にまとめられており、2018年度にコミットしたプロジェクトと、それに対応する国連SDGsが記載されています。⁹

ソーシャルボンドの資金供与の対象となるのは、新興市場の女性が経営する企業や、経済ピラミッドの下層部（BOP層）で生活する人々と事業を行うプロジェクトです。これらの企業は、農家、患者、学生、マイクロ・ローンの借り手、零細小売事業者、消費者等を含む低所得者層に直接影響を与える存在です。

本報告は、プロジェクトの影響評価時における事前評価に基づいています。インパクト・アセスメント表の数値には、建設中または実施途中にあるプロジェクトの効果の概算値が含まれており、これらの効果が最終的に実現する保証はありません。そのため、この報告は、特定の年度または報告期間において達成された実際の効果を報告するものではありません。

9 一部の適格プロジェクトについては守秘義務の理由から記載していません。一部のプロジェクトについては指標が入手できないため、総合指標に算入していません。上記の表には既往の顧客とのプロジェクトも含まれていますが、前回の報告との重複を避けるため、総合指標には算入していません。ソーシャルボンドによる適格融資金額には、プロジェクト全体の規模が反映されていない場合があります。


実体経済セクター

実体経済セクターの適格プロジェクトは、幅広いサブセクターにまたがっており、低所得層またはサービスを十分に受けられていない人々、あるいはその両方による、商品、サービス、及び市場へのアクセスを拡大することに重点を置いています。2018年度のターゲット層には以下が含まれます。

- ・（往々にして重要な投入物や資金源へのアクセスを持たず、一般的に非常に貧しく、農産物市場へのアクセスが限定的な）小規模農家
- ・ 質の高い、手頃な価格帯の教育／または雇用機会につながる職業訓練の選択肢が限られている若者
- ・ 家族経営の小規模店舗、その他の低所得の小売業者及び流通業者
- ・ 質が高く手頃な価格帯の保健製品またはサービス、またはその両方に十分にアクセスできない患者（低所得層を含む）
- ・ ブロードバンドその他の情報通信技術（ICT）サービスにアクセスできない人々（多くは農村地域の居住者）

インパクトのハイライト



指標 ¹⁰		基準値	目標
支援する農家の数 (アグリビジネス)		1,036,343軒	1,313,414軒
支援する学生の数 (教育)		86,874人	137,441人
契約者数 (ICT)		32,555,000人	42,780,000人

持続可能な開発目標	セクター	組織名	プロジェクト ID	国または地域	概要	適格融資コミットメント ⁹ (百万米ドル)
	アグリビジネス	Global Tea	38327	マラウイ	マラウイ最大のコーヒー生産会社であり、マカダミアの主要生産会社。本プロジェクトでは、マカダミアの木を植え、移植し、小規模農家の既存コーヒー農園の収穫量を増やし、小規模農家を支援するためのコーヒーの契約栽培プログラムを開発するなど、マラウイにおける同社の事業を拡大する。	0.30
	アグリビジネス	Jain Irrigation Systems	40251	India	インド最大の総合アグリビジネス企業の1つ。小規模農家向けのハイテクな農業原材料と、エンド・ツー・エンドのソリューションを開発している。本プロジェクトでは、インド国内における同社のマイクロ灌漑システム、プラスチック管、組織培養及び太陽光製品事業を拡大する。マイクロ灌漑システムや改良された農業技術を導入することにより、ピラミッドの下層部（BOP 層）に位置する農家の所得を拡大し、水の利用効率を高める。	39.93

¹⁰ インパクトのハイライト表に含まれていないセクターに関しては、プロジェクト表内に、予想される定性的なインパクトを記載しています。

実体経済セクター

持続可能な 開発目標	セクター	組織名	プロジェクト ID	国または地域	概要	適格融資 コミットメント ⁹ (百万米ドル)
	アグリビジネス	PRAN Group	40929	バングラデシュ	バングラデシュの主要ブランド食品・飲料グループ。同国最大の農産物加工会社でもある。PRANは小規模農家から直接原材料を仕入れ、消費者が質の高い食品を手頃な価格で購入しやすくすることに貢献している。本プロジェクトでは、既存の数種類の食品の生産と、小規模農家のサプライ網、及び零細・中小企業 (MSME) の流通チェーンを拡大する。	15.00
	アグリビジネス	Rikweda Fruit Processing Company (Afghan Samoon Company)	39718	アフガニスタン	カブール郊外に拠点を置くレーズン加工会社。本プロジェクトでは、アフガニスタンの新レーズン加工場の開発を支援し、同社が食の安全システムや財務管理手続き、及びサプライチェーンを開発・成長させられるよう、同社の能力を構築する。本プロジェクトでは、市場へのアクセスを強化し、農業における女性の役割を推進することにより、遠隔農村地域の小規模農家の生活水準を引き上げることが目標とする。	1.00
 4 質の高い教育を みんなに	教育	Anima	37083	ブラジル	ブラジル国内市場の様々なセグメントや地域で私立大学、エグゼクティブ教育及び遠隔教育事業を運営するブラジルの教育会社。この投資により、低・中所得層をはじめとするブラジルのより多くの学生が、質の高い教育を手頃な学費で受けられるようになった。本プロジェクトでは、新キャンパスの設立または既存の教育企業の買収、またその両方を含む同社の事業拡大計画に資金を提供した。	3.00
	教育	Ashesi University	39192	ガーナ	多様性と包摂性に重点を置いた、ガーナの非営利の民間教育プロバイダー。2002年の発足当初から施設を借りて事業を営んできたものの、2009年にIFCから資金供与を受け、ガーナのベレクソに常設キャンパスを建設。追加投資を受けて拡張計画を実行し、新しい施設を建設することで、入学者数を倍増し、国内の学生が質の高い教育を手頃な学費で受けられるようにする。	1.89
 2 飢餓を ゼロに	食糧	Nabati	40460	インドネシア	インドネシアに拠点を置くウェハース、ビスケット及びスナックの生産会社。本プロジェクトでは、西ジャワ州の新工場の建設を支援する。本プロジェクトでは、新たな雇用機会を創出し、同社のバリューチェーン全体を通じて、特に広範な流通網の川下部分 (零細・中小企業を含む) に経済的インパクトをもたらす。また本プロジェクトは、ピラミッドの下層部 (BOP 層) の消費者の食料安全保障にも貢献することが予想される。	37.40

持続可能な 開発目標	セクター	組織名	プロジェクト ID	国または地域	概要	適格融資 コミットメント ⁹ (百万米ドル)
3 すべての人に 健康と福祉を 	保健	Biological E	39488	インド	アジア、中東及びラテンアメリカの低・中所得国に直接、または国連児童基金（ユニセフ）／GAVI アライアンス（GAVI）を通じて、ワクチンを供給するインドのワクチン・医薬品メーカー。同社は本プロジェクトを通じて、4つの新ワクチンをリリースし、ハイデラバードの新製造施設の建設費用を捻出し、インドその他の開発途上国の人々が質の高い、手頃な価格帯のワクチンを入手しやすくする。本プロジェクトは、子供の命に関わる病気を予防できる、手頃な価格帯のワクチンを入手しやすくすることにより、インド全土の乳幼児の死亡率引き下げに貢献すると見られる。	60.00
	保健	UCL Pharma	39904	ケニア	ケニアのナイロビに拠点を置き、アフリカで最も開発が遅れた、いくつかの低所得の医薬品市場に向けて、低コストで質の高い医薬品を製造している医薬品メーカー。本プロジェクトは、同地域における偽造医薬品の蔓延と戦い、より手頃な価格帯の医薬品へのアクセスを推進するために、質の高い医薬品を入手しやすくすることを目標としている。本プロジェクトは、UCL が市場でのスケール・メリットを拡大することで、コスト競争力を高め、品質を確保しながら、より手頃な価格帯の医薬品を入手しやすくすることにつながると予想される。	7.80
9 産業と技術革新の 基盤をつくらう 	ICT	Cabo Telecom	37968	ブラジル	ブラジル北東部に位置するブロードバンド網の「トリプルプレーヤー」企業であり、ケーブルテレビ、電話及びインターネット・サービスを提供している。本プロジェクトでは、同社がフロンティア地域（北部及び北東部）におけるブロードバンドの普及率を高め、それによって地域の経済発展と情報へのアクセス拡大を支えられるよう後押しする。	36.82
	ICT	Zain Iraq	39715	イラク	イラクの大手携帯電話ネットワーク事業者。本プロジェクトでは、Zain Iraq が3G ネットワークの容量と質を高め、ブロードバンドへのアクセスを拡大し、ISIS との紛争で損傷した 2G 及び 3G ネットワークを再構築し、現在サービスを提供していない地域にまでサービスエリアを広げられるよう支援する。	100.00

金融セクター

金融セクターにおけるソーシャルボンド適格プロジェクトは、低コストの金融商品やサービスにアクセスしやすくすることに焦点を当てています。サブセクターとしては、サービスを十分に受けられていない層を支援するものとして、ジェンダー・ファイナンス、住宅金融、マイクロファイナンスその他の金融セクターが挙げられます。2018年度のターゲット層には以下が含まれます。

- ・ 女性が経営する零細・中小企業 (MSME)
- ・ 手頃な金利の住宅ローンにアクセスできない(多くの場合、住宅が不足している地域の)住宅購入者
- ・ 従来の銀行または融資機関が提供する手頃な価格帯の金融サービスにアクセスできない(多くの場合、低所得層または遠隔地に居住する)マイクロ・ローンの借り手
- ・ 安全で質の高い、手頃な価格帯の調理用ストーブにアクセスできない貧困層の顧客

インパクトのハイライト

指標¹²

基準値

目標

女性が経営するMSMEへの
融資件数

(ジェンダー・ファイナンス/女性起業家支援)



40,618件

88,161件

住宅ローンの融資件数
(住宅金融)



10,016件

37,391件

マイクロファイナンスの
融資件数

(マイクロファイナンス)



1,030,199件

1,545,191件

持続可能な 開発目標	セクター	組織名	プロジェ クト ID	国または地域	概要	適格融資 コミットメント ⁹ (百万米ドル)
5 ジェンダー平等を 実現しよう 	ジェンダー・ ファイナンス/ 女性起業家支援	An Binh Bank	40081	ベトナム	ベトナムの商業銀行。シンジケート方式の1億5,000万ドルのシニア・ローンのうち、少なくとも3分の1は、女性が経営する中小企業への融資に充当される。ABBankは本プロジェクトを通じ、女性が経営する中小企業への融資を5年間で約4倍に拡大する方針である。	33.5
	ジェンダー・ ファイナンス/ 女性起業家支援	Garanti Bank	40713	ルーマニア	本プロジェクトはシニア・ローンから成り、Garanti Leasing Romania へのパラレル・ローンと共に、中小企業融資の支援を目的とした Garanti Group Romania への全体的なローン・パッケージの一部を構成する。調達資金の半分は、女性が経営する企業の支援に割り当てられる。本プロジェクトは、Garanti Romania によるファイナンシャル・インクルージョン(金融包摂)の推進と、女性起業家を中心とする中小企業への支援拡大に役立てられる。	14.80
	ジェンダー・ ファイナンス/ 女性起業家支援	First Rand	40511	南アフリカ	FirstRandのリテール・商業銀行部門である First National Bank は、南アフリカの中小企業セグメントにおける主要金融機関。本プロジェクトは最大1億ドルのシニア・ローンで構成され、うち半分は女性が経営する中小企業への転貸に割り当てられる。IFCは南アフリカで、正規の銀行セクターによる中小企業への融資拡大と中小企業への支援強化を目的とした、より幅広い「中小企業プッシュ型プログラム(SME Push Program)」を立ち上げており、国内最大級の銀行とのパートナーシップを通じて、国内最大の雇用源である中小企業市場のうち、サービスを十分に、または全く受けられていないセグメントへの融資を大幅に拡大する方針である。	50.00

12 インパクトのハイライト表に含まれていないセクターに関しては、プロジェクト表内に、予想される定性的なインパクトを記載しています。

持続可能な 開発目標	セクター	組織名	プロジェクト ID	国または地域	概要	適格融資 コミットメント ⁹ (百万米ドル)
<div>5</div> <div>ジェンダー平等を 実現しよう</div> <div></div>	ジェンダー・ ファイナンス/ 女性起業家支援	Garanti Leasing	40788	ルーマニア	本プロジェクトはシニア・ローンから成り、Garanti Bank Romania へのパラレル・ローンと共に、中小企業融資の支援を目的とした Garanti Group Romania への全体的なローン・パッケージの一部を構成する。調達資金の半分は、女性が経営する企業の支援に割り当てられる。本プロジェクトは、Garanti Leasing Romania によるファイナンス・インクルージョン（金融包摂）の推進と、女性起業家を中心とする中小企業への支援拡大に役立てられる。	4.14
	ジェンダー・ ファイナンス/ 女性起業家支援	Senkadagala Finance	40668	スリランカ	免許を付与されたスリランカの金融会社。本プロジェクトは IFC がスリランカで実施する最初の支援活動であり、女性起業家のみをターゲットとし、女性による経済への参加を後押しすることを目的としている。期間 5 年の 1,500 万ドル相当のスリランカルピー建てシニア・ローンによって、5 年間にわたり、女性が経営する中小企業による、手頃な金利の融資へのアクセスを支援する。	15.00
	ジェンダー・ ファイナンス/ 女性起業家支援	Sanasa Development Bank PLC	40660	スリランカ	4,500 超の協同組合から出資を受け、マイクロファイナンス/リテール銀行として設立された後、業態を転換した中小企業/リテール向け銀行。1,500 万ドル相当のスリランカルピー建てシニア・ローンは、Sanasa の中小企業ポートフォリオの拡大を支援するために用いられ、調達資金のうち 25% は、女性が経営する中小企業に割り当てられる。	3.75
	ジェンダー・ ファイナンス/ 女性起業家支援	BCN Cape Verde	39745	カーボベルデ	カーボベルデ唯一の完全内資銀行。本プロジェクトは、最大 500 万ユーロの期間 5 年のシニア・ローンで構成され、うち 25% は女性が経営する中小企業への融資に割り当てられる。これにより、女性が経営する企業 600 社を含む中小企業 3,000 社への与信拡大が可能となる。	1.53
	ジェンダー・ ファイナンス/ 女性起業家支援	Garanti Bankasi	40886	トルコ	トルコで 2 番目に大きい民間銀行。この取引では、Garanti Bank が、女性が経営する企業への融資のみを目的として、新興市場の民間セクターとしては第 1 号となるジェンダー・ボンドを発行。調達資金は、女性が経営するトルコ国内の小規模企業の運転資金ニーズを満たすための Garanti による融資事業の支援に用いられ、Garanti は、この顧客基盤に対する融資件数を、今後 5 年間で 3 倍に増やす計画である。	75.00
	ジェンダー・ ファイナンス/ 女性起業家支援	CAL Bank Ltd	41047	ガーナ	ガーナを拠点とする総合銀行。IFC による投資は CAL Bank に対する 5,000 万ドルのシニア・ローンで構成され、中小企業向け融資に充当される。シニア・ローンの一部は、拡大を続ける CAL Bank のジェンダー及び気候関連の融資に用いられる。	0.40
	ジェンダー・ ファイナンス/ 女性起業家支援	ABI Holding	40243	ベナン、ブルキナファソ、コートジボワール、マリ、ニジェール、セネガル、トーゴ	西・中央アフリカ 9 개국で事業を営む地域の大手銀行グループ Banque Atlantique Group の中心的企業。本プロジェクトは、ABI が発行するソーシャルボンドへの投資である。調達資金は、女性が経営する中小企業の支援を含め、ベナン、ブルキナファソ、コートジボワール、マリ、ニジェール、セネガル及びトーゴの ABI 子会社によるソーシャルボンド適格プロジェクトへの融資または借換融資に用いられる。	26.28
	ジェンダー・ ファイナンス/ 女性起業家支援	National Development Bank	41285	スリランカ	免許を付与されたスリランカの中規模商業銀行。本プロジェクトでは、気候に配慮した農業ソリューションや、女性が経営する企業への融資に重点を置きながら、NDB の農業セクター関連の中小企業ポートフォリオの拡大を支援する。本プロジェクト案は、農業金融の不足額推定 20 億ドルを補う全体的ソリューションを提供することを目的とした、IFC のスリランカ農業金融プログラム（Sri Lanka Agriculture Finance Program）の一部を構成する。	11.19

金融セクター

持続可能な 開発目標	セクター	組織名	プロジェ クト ID	国または地域	概要	適格融資 コミットメント ⁹ (百万米ドル)
5 ジェンダー平等を 実現しよう 	ジェンダー・ ファイナンス/ 女性起業家支援	Alliance Finance	41271	スリランカ	免許を付与されたスリランカの金融会社。本プロジェクトでは、気候に配慮した農業ソリューションや、女性が経営する企業への融資に重点を置きながら、Alliance の農業セクター関連の中小企業ポートフォリオの拡大を支援する。本プロジェクト案は、農業金融の不足額推定 20 億ドルを補う全体的ソリューションを提供することを目的とした、IFC のスリランカ農業金融プログラムの一部を構成する。	2.00
	ジェンダー・ ファイナンス/ 女性起業家支援	Central Finance	41293	スリランカ	免許を付与されたスリランカの金融会社。本プロジェクトでは、気候に配慮した農業ソリューションや、女性が経営する企業への融資に重点を置きながら、Central Finance の農業セクター関連の中小企業ポートフォリオの拡大を支援する。本プロジェクト案は、農業金融の不足額推定 20 億ドルを補う全体的ソリューションを提供することを目的とした、IFC のスリランカ農業金融プログラムの一部を構成する。	3.00
11 住み続けられる まちづくりを 	住宅金融	Caisse Régionale de Refinancement Hypothécaire (CRRH)	40549	西アフリカ	地域の住宅ローンファイナンス会社であり、西アフリカ経済通貨同盟 (UEMOA) 地域における、手頃な価格帯の住宅ニーズに応えることを目的としている。本プロジェクトでは、CRRH の現地通貨建て債券発行プログラムを支援することにより、UEMOA における住宅市場の発展と、地域資本市場の厚みを増すことに貢献する。	9.02
	住宅金融	Lafise Bancentro	41273	ニカラグア	ニカラグアに拠点を置く、Lafise Group 最大の銀行子会社。本プロジェクトでは、中小企業による与信へのアクセスを支援し、低・中所得層世帯による住宅ローンへのアクセスを拡大することにより、同国における住宅不足の緩和を支援する。	11.40
8 働きがいも 経済成長も 	マイクロファイ ナンス	Accion Nigeria	39519	ナイジェリア	ラゴスに拠点を置く大手マイクロファイナンス機関であり、3 万 9,000 人超の顧客に融資を行っている。本プロジェクトは、ナイジェリアの零細・小規模企業に対する同行の融資拡大を支援することを目的としている。	2.84
	マイクロファイ ナンス	Agency for Finance in Kosovo (AFK)	41012	コソボ	コソボで 4 番目に大きいマイクロファイナンス機関。本プロジェクトでは、農村地域及び準都市部を中心に、AFK の零細・小規模企業、小規模農家及びアグリビジネス向け融資プログラムの拡大を支援する。	0.74
	マイクロファイ ナンス	Camesa	40066	メキシコ	256 の支店を通じて金融サービスを提供するマイクロファイナンス企業であり、支店の 20% 超が国境周辺の州に位置する。同社は人口密度が高く、融資へのアクセスが乏しい郊外地域に重点を置いている。本プロジェクトによる調達資金は、メキシコ国内の零細企業への転貸に用いられる。	9.66
	マイクロファイ ナンス	Fedecredito	37719	エルサル バドル	エルサルバドルの 48 の信用組合と 7 つの労働金庫から成る協同組合。同組合のシステムは、労働金庫による、拡大を続ける個人及び零細・中小企業向け融資ポートフォリオを支援している。本プロジェクトは、同組合による、拡大を続ける消費者ローン、零細・中小企業向け融資及び住宅ローンのポートフォリオを支援することを目的としている。	8.70

持続可能な開発目標	セクター	組織名	プロジェクト ID	国または地域	概要	適格融資コミットメント ⁹ (百万米ドル)
<div>8 働きがいも経済成長も</div> 	マイクロファイナンス	Genesis	39578	グアテマラ	グアテマラ最大の非営利マイクロファイナンス機関。10万人以上の顧客（うち90%が農村地域に居住）にサービスを提供している。調達資金は、同機関のマイクロ・ローン及び小規模融資ポートフォリオの拡大に充当し、農村地域の女性及び先住民をはじめ、サービスを十分に受けられていない借り手への支援を拡大することに用いる。	5.70
	マイクロファイナンス	KEP	40428	コソボ	コソボの主要マイクロファイナンス機関。本プロジェクトでは、コソボ国内の零細農園及び零細農産物加工企業を含む、個人及び零細・小規模企業向け融資プログラムの拡大を支援する。	1.55
	マイクロファイナンス	KMF	40476	カザフスタン	カザフスタンにおけるマイクロファイナンス・セクターを主導する存在。本プロジェクトでは、女性起業家及びカザフスタンの農村地域に暮らす顧客を含めた零細・小規模企業向けの現地通貨建て融資を支援する。	79.05
	マイクロファイナンス	Konfio	40491	メキシコ	メキシコの零細・中小企業向けオンライン融資プラットフォーム。信用力が高いものの、サービスを十分に受けられていないメキシコの大半の企業セグメントへの与信不足に対処する目的で設立された。本プロジェクトでは、同社の継続的な事業拡大を支援する。	4.30
	マイクロファイナンス	KRK	39885	コソボ	コソボの零細・中小企業向け大手融資機関。農業及び農産物加工業に重点を置いている。2回目となる今回の投資では、（一般的に、従来の商業銀行によるサービスを十分に受けられていない）コソボの農家、地方の起業家及びその他の零細・中小企業向け融資を拡大する。	1.85
	マイクロファイナンス	Los Héroes	40295	チリ	チリを拠点とする非営利団体。社会保障給付の支給と、他のソーシャル金融商品を通じたファイナンシャル・インクルージョンの強化に力を入れている。本プロジェクトでは、現在、チリの従来の金融システムによるサービスを十分に受けられていない低所得層に焦点を当て、同社のソーシャル・クレジット融資プログラムを支援する。	28.80
	マイクロファイナンス	Tamweelcom	40533	ヨルダン	ヨルダンのマイクロファイナンス機関。全国36の支店網を通じて約8万6,000人の顧客にサービスを提供している。本プロジェクトでは、同機関の個人起業家及び零細企業向け融資を拡大することにより、女性起業家を含め、サービスを十分に受けられていないセグメントによる融資へのアクセスを拡大する。	6.37
<div>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</div>  <div>6 安全な水とトイレを世界中に</div> 	その他金融	BIX Capital	35168	サブサハラ・アフリカ	インパクト投資事業体であり、主にサブサハラ・アフリカ諸国を対象とし、手頃な価格帯で生活必需品である家庭用品へのアクセス拡大を目標としている。本イニシアティブでは、カーボンクレジットから産出される収益を利用し、気候及び環境に配慮した家庭用製品の製造業者や流通業者に運転資金の融資を行う。本プロジェクトでは、環境に優しい調理用ストーブ、浄水装置、バイオガスダイジェスター、その他の製品をアフリカの低所得世帯に届け、貧困層の消費者の健康・衛生状態の改善を支援する。	3.50

IFCとは

世界銀行の姉妹組織であり、世界銀行グループの一員であるIFCは、新興市場の民間セクターに特化した世界最大規模の国際開発金融機関です。IFCは世界で2,000超の企業と協力し、資金、専門知識、及び影響力を駆使して、世界で最も厳しい環境に置かれた地域において、市場と機会を創出しています。2018年度には、民間セクターの力を活用して極度の貧困を撲滅し、繁栄の共有を促進するため、途上国に対して230億を超える長期融資を行いました。詳細については www.ifc.org をご覧ください。

作成者

本レポートは、IFCの資金調達及びインベスター・リレーションズ、インクルーシブ・ビジネス及び女性起業家支援チームによって作成されました。

作成者：Sophie Peeters、黒木 友里、Kathleen Mignano、猿田 志乃、Carmel Lev、Hui Min Toh。
編集協力：Emma-Kate Symons、Esohe Denise Odaro、Flora Chao、Elena Panomarenko、Zauresh Kezheneva、Atiyah Curmally、Joseph Rebello、Rob Wright。

免責事項

本報告書は情報提供のみを目的として作成されています。IFC は、本報告書に含まれる情報、意見、結論の完全性や信頼性に関して、いかなる保証及び表明も行うものではありません。掲載されている報告や情報、またはこの報告書の中で言及されているウェブサイトから得られる情報は、過去のもので、その時点での情報を述べているに過ぎません。IFC はこれらの情報を更新する義務を一切負いません。

本報告書は、IFC が発行するいかなる債券についても評価基準を提供するものではありません。また、いかなる IFC の債券についても予約または購入を勧誘、推奨したり、提供するものではありません。いかなる状況においても、IFC またはその関係機関は、本報告書の情報の使用に起因するいかなる損失、損害、負債、費用に対しても責任を負いません。これには直接的損害、間接的損害、特別損害、派生的損害を含み、それらに限らず、たとえそのような損害の可能性について IFC が報告を受けていた場合を含め、いかなる状況においても、IFC 及び IFC の関係機関は責任を負いません。

IFCに関するより詳しい情報は、以下のIFCのウェブサイトより、最新版「インフォメーション・ステートメント」、財務諸表、その他関連情報を参照してください。

www.ifc.org/investors

連絡先

IFC Investor Relations
International Finance Corporation
2121 Pennsylvania Avenue NW
Washington, DC 20433

Email: investors@ifc.org

Twitter: @IFC_Investors

[Ifc.org/investors](http://ifc.org/investors)

写真の出典

以下を除き、写真はすべて世界銀行グループから提供されたものです。

p. 9: © BIX Capital

p. 10: © Environmental Finance、国際資本市場協会

p. 12: © Wandel Guides/Shutterstock

p. 13上: © Nicolas Bertrand/Taimani Films/世界銀行

p. 13下: © Sayed Mustafa/Shutterstock

p. 15: © Minh Hieu/IFC、John McNally、Van Anh Chu、Ngoc Hong Mai、IFC



